

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 28 日作成)

委員会名	工高教育小委員会	主 査 名：堀内 仁之
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：西谷 章
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	全国に在る工業高等学校建築科で教職に在る者の研修・交流の場として次の催しごとを実施する。 研修会・見学会の立案と実施 工高での建築教育のあり方についての調査研究 若年者向け建築教育の方法論 教育システムについての工夫	
委員構成 (委員名(所属))	和田 康由(都島工高) 門馬 進(東工大付属) 七星 岳也(損保機構) 中野 吉晟(堺工高) 當間 喜久雄(春日部工高) 土田 裕康(都技術教育センター) 田中 和夫(八王子工高) 塩澤 泰(関東一高) 小島 聡(葛南工高) 黒津 高行(日工大) 岡田 義治(足利工高) 江原 哲二(藤岡工高)三原 斉(ものづくり大) 江口 敏彦(市川工高) 堀内 仁之(田無工高)	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2003 年度予算	100000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	4 月 2 1 日 (8 名) 5 月 2 2 日 (6 名) 7 月 9 日 (8 名) 9 月 2 4 日 (8 名) 1 0 月 2 9 日 (8 名) 1 2 月 3 日 (7 名) 1 月 2 1 日 (4 名) 3 月 8 日 (7 名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>工業高校における建築教育の現状について、教育情報の収集・交換を行った。情報の中心は、委員の所属する都道府県の入試・進路情報である。工高建築科での技術教育の展望を考えるために、卒業生の進路開拓を目指して来年度アンケート調査を貴下牛手織り、項目の検討を行った。</p> <p>8 月 7 , 8 日に、「第 3 4 回工業高校建築教育研修会」を実施した。この開催に向けての計画・立案を行い、参考資料集の編集を行った。</p> <p>委員会 HP アドレス :</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>予定の、恒例の教育研修会を実施した。事業は目的を達成することができた。</p> <p>委員が所属する都道府県の入試・進路情報の収集・交換を行うなかで、閉塞感が強まるなかで工高の入り口、出口 (卒業生の進路先) の問題、特に出口問題を検討することが必要であり、来年度のアンケートに向け、作業を計画通り進めている。</p>
その他評価すべき事項	毎年工高の建築教育について必要とされる事柄を広く伝え、技術・技能教育の大切さを問いかけている。